

令和5年度当初予算知事審査における主要な議論

(環境部・産業労働部)

- サークュラーエコノミー推進事業費（環境部・P24）
サーキュラーエコノミー推進事業（産業労働部・P27）

知事 大規模集客施設での実証実験は3Rの取組という側面もあると思うが、どのような取組をサーキュラーエコノミーとして捉え、推進していくのか。

担当部局 実証事業については、回収したペットボトルキャップ等を商品化し、「ビジネスにつながる」というサーキュラーエコノミーとしての側面を強調して取り組んでいきたい。

知事 食のサーキュラーエコノミー試験研究について、梅干しを製造する際に出る梅酢を金属の剥離剤として利用したり、コーヒーかすをたい肥として再利用するといった、食品産業以外の業界との連携も視野に入れて取り組んでいくべき。

担当部局 対象を幅広く捉え、異業種も巻き込んだ展開もできるよう検討を進めていく。

令和5年度当初予算知事審査における主要な議論

(産業労働部)

■ 技術イノベーション創出支援事業 (P47)

知事 ベンチャーキャピタルが投資したスタートアップ企業の経営がつまづきを見せた場合、ベンチャーキャピタルがいたずらに資金回収に走らないようにするための仕組みや手法は、来年度作成予定のイノベーション創出アクションプランに盛り込むのか。

担当部局 手法をプランに盛り込むかも含め検討を行っていく。

知事 高度な技術や製品の開発補助について、大学との共同開発を対象とした場合、補助先の負担分が国の科学研究費補助金で賄われ、開発費の全てが公的な資金となってしまうことがあるのではないか。

担当部局 現時点でそうしたケースは無いが、より明確に要綱を随時見直しながら運用する。

■ 中小企業制度融資利子補給費 (P56)

知事 伴走支援型経営改善資金の令和4年度の融資実績はどうなっているのか。

担当部局 12月末現在で161億円の融資が実行されている。

知事 いわゆるゼロゼロ融資について、伴走支援型経営改善資金への借換えがなされると信用保証協会が一部損失補償を行うことになるため、借換えが難しくなってしまうのではないか。

担当部局 一定程度審査が厳しくなることも想定されるが、企業育成は信用保証協会及び金融機関の役割の一つでもあるため、引き続き協力を呼びかけていく。

■ 観光プロモーション戦略会議強化事業 県DMO支援事業 (P65)

知 事 DMO の機能を強化していくためには、観光分野の専門家を DMO に加えていく必要があるのではないか。

担当部局 観光分野の専門家を採用し、DMO の機能強化を図っていく。

■ ポストコロナにおけるインバウンド誘致事業 (P64)

知 事 観光関連事業者に共通して使用してもらうロゴについては、埼玉県を知らないインバウンド観光客が興味を持ってもらえるようなものにしたほうが良い。

担当部局 埼玉県を知らない外国人観光客にも反応してもらえるよう工夫する。

知 事 日本人には興味がなくても、特定の国の外国人は敏感に反応するスポットや観光コンテンツなどがある。そういった部分にターゲットを絞るのもありではないかと思う。

担当部局 固定観念にとらわれず、視野を広げて検討していく。

令和 5年度予算見積調書

課室名：資源循環推進課
 担当名：資源循環工場・循環型社会推進担当
 内線：3109 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P24	サーキュラーエコノミー推進事業費		一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	サーキュラーエコノミー推進事業費	
事業期間	令和 3年度～ 令和 7年度	根拠 法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律		針路 分野施策	11 1102	稼げる力の向上 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsゴール 8, 9, 12, 17 SDGsターゲット 8-4, 9-5, 12-4, 12
1 事業概要	県内中小企業等の循環ビジネス支援及びサーキュラーエコノミー推進に向けた理解促進		5 事業説明					
	ア サークュラーエコノミー型ビジネスの創出 46,049千円		(1) 事業内容					
	イ 県有大規模集客施設における実証事業 9,678千円		ア サークュラーエコノミー型ビジネスの創出		46,049千円			
	ウ プラスチックの循環利用モデル促進事業 7,403千円		イ 県有大規模集客施設における実証事業		9,678千円			
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			ウ プラスチックの循環利用モデル促進事業		7,403千円			
3 地方財政措置の状況 なし			(7) 循環利用モデルの構築に向け企業や市町村等と連携したプラットフォームの運営					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円			(4) 市町村における効率的な収集方法の検証					
			(2) 事業計画					
			ア サークュラーエコノミー型ビジネスの創出					
			(7) 事業募集					
			(4) 審査					
			(4) 補助金交付					
			(5) 事例の発信					
			イ 県有大規模集客施設における実証					
			(7) 実証委託					
			(4) 検証実施					
			(4) 啓発					
			ウ プラスチックの循環利用モデル促進事業					
			(7) 企業や市町村等と連携したプラットフォームの運営					
			(4) 循環利用モデル実証実験解析委託					
			(3) 事業効果					
			サーキュラーエコノミーに取り組む県内企業の増加、実証県有施設における廃棄物のマテリアルリサイクル率の向上					
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	63,130					63,130	54,517	
前年額	8,613					8,613		

令和 5年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：北部地域拠点施設・技術支援担当
 内線：3742 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P27	サーキュラーエコノミー推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	サーキュラーエコノミー推進事業		
事業期間	令和5年度～令和12年度	根拠法令	なし			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	8, 9, 12	
						分野施策	1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsターゲット	8-4, 9-4, 12-5	
1 事業概要 県内企業がサーキュラーエコノミーへの取組を積極的に推進することで、県内産業における資源投入量・消費量の最小化やストックの有効利用等が図られるとともに、企業自身の新たな成長につなげる。 また、食品加工の際に発生する廃棄物を「資源」として活用して廃棄物削減につなげるとともに、県内中小企業が実践できる新たなビジネスモデルを生み出す。 (1) サーキュラーエコノミー推進事業 30,877千円 (2) 食のサーキュラーエコノミービジネス化支援事業 20,183千円 (3) 食のサーキュラーエコノミー啓発事業 2,892千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア サーキュラーエコノミー推進事業 (ア) ワンストップ支援拠点の設置 15,991千円 ・サーキュラーエコノミー分野での事業化、販路開拓などに知見を持つ専門人材をコーディネーター・アドバイザーとして配置し、企業からの相談にワンストップで対応するとともに、ビジネスマッチングを行う。 (イ) 情報発信・普及啓発（セミナー・研究会の開催） 790千円 ・サーキュラーエコノミーに関するセミナーを開催し、セミナーで高い関心を示した企業に対して事業化に向けた研究会を実施する。 (ウ) マッチングの支援 14,096千円 ・県内企業に対し、排出している廃棄物の種類や量などの調査を行い、基礎データベースを構築し、マッチングなどの基礎データとして活用する。 ・彩の国ビジネスアリーナに特設展示を設け、リーディングモデル企業の取組を紹介し商談につなげるとともに、県の取組を紹介する。 イ 食のサーキュラーエコノミービジネス化支援事業 20,183千円 ・食品残さを排出する企業を対象に、再資源化により製造された原材料を活用した商品のビジネス化までを産業技術総合センター北部研究所にて支援する。 ウ 食のサーキュラーエコノミー啓発事業 2,892千円 ・食品残さが資源となる可能性があることを啓発するとともに、企業に対し活用に向けた支援を行う。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし				(2) 事業計画 ・令和5年度 ワンストップ支援拠点を整備し、サーキュラーエコノミーに取り組む県内企業を支援する。食品残さの再資源化を図るサーキュラーエコノミー型ビジネスの構築を支援する。 (3) 事業効果 ・サーキュラーエコノミー型ビジネスへの取組を推進し、県内企業の新たな成長につなげる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6.2人=58,900千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・県内企業や支援機関等と連携し、サーキュラーエコノミーの取組を推進する。						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		県 債								
決定額	53,952	16,000						37,952	53,952	
前年額	0							0		

令和 5年度予算見積調書

課室名：先端産業課

担当名：推進担当

内線：3735

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P47	技術イノベーション創出支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 7年度	根拠法令	なし			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	9	
						分野施策	1101 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsターゲット	9-5	
1 事業概要 県内産業界に製造業を核としたイノベーションを創出させる機会と土壌を作る。 ア 「イノベーション創出アクションプラン(仮称)」の策定 23,936千円 イ 次世代ものづくり技術活用製品開発支援事業 105,983千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 「イノベーション創出アクションプラン(仮称)」の策定 23,936千円 イノベーションが期待できる産業分野、企業や投資側の支援ニーズ、先進事例等を調査し、プランを策定する。 イ 次世代ものづくり技術活用製品開発支援事業 105,983千円 高度なデジタル・バイオ・マテリアル・カーボンニュートラルに関する技術・製品の開発に対して、費用の一部を助成する。 (2) 事業計画 ア 「イノベーション創出アクションプラン(仮称)」の策定 ア 効果的な施策にするための調査・ヒアリングの実施 イ 調査とヒアリングを踏まえ、中期プランを策定 ウ 資金提供元のネットワーク化及び有望企業とのマッチング イ 次世代ものづくり技術活用製品開発支援事業 ア 補助事業の実施(事前相談、公募、審査、採択、進捗管理等) イ 補助額 10,000千円(上限) × 10件程度 ウ 対象 県内中小企業等 (3) 事業効果 県内産業界にイノベーションが創出される土壌が形成される。 成長産業の技術開発に取り組む企業が増え、付加価値の向上が図られる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 民間資金を県内に呼び込むため、市場や有力企業、県内金融機関等と連携する。 (5) その他(前年度からの変更点) 次世代ものづくり技術活用製品開発支援事業は「技術開発サポート事業」より移管。						
2 事業主体及び負担区分 ア (県10/10) イ (県2/3)事業者1/3、(県3/4)事業者1/4										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		繰入金								
決定額	129,919	129,919						0	33,069	
前年額	96,850	96,850						0		

令和 5年度予算見積調書

課室名：金融課
 担当名：企画・制度融資担当
 内線：3801

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P56	中小企業制度融資利子補給費			一般会計	商工費	商工業費	金融対策費	中小企業制度融資事業費		
事業期間	昭和29年度～ 令和20年度	根拠法令	埼玉県中小企業制度融資要綱ほか		針路	11	稼げる力の向上		SDGsゴール 8	
					分野施策	1102	変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援		SDGsターゲット 8-3	
1 事業概要 県が金融機関に対して利子補給を行うことにより、各種の目的に対応した融資制度を設け、地域経済を支える県内中小企業者の金融の円滑化を図るもの。 県経済の発展のため、県内中小企業者への資金繰り支援をさらに充実することが必要である。 ア 中小企業制度融資利子補給費(新規分) 615,500千円 イ 中小企業制度融資利子補給費(継続分) 9,547,279千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 融資枠 3,600億円 (うち利子補給対象資金 2,900億円) イ 利子補給額 10,162,779千円 (ア) 令和5年度の新規融資実行分に対する利子補給 615,500千円 (イ) 令和4年度以前の融資実行分に対する利子補給 9,547,279千円 (2) 事業計画(令和4年度からの主な変更点) ア 借換えに対応した資金の充実 いわゆる「ゼロゼロ融資」の無利子期間終了等に伴う借換需要に対応するため、伴走支援型経営改資金の融資枠を拡充するとともに、利子補給率を引き上げ、利用者負担を軽減する。 イ ポストコロナに向けた前向き資金の充実 (ア) ポストコロナにおける持続可能な社会の実現に向け、設備投資促進資金のカーボンニュートラル要件を拡充し、サーキュラーエコノミーの取組も対象とする。 (イ) 企業を取り巻く自然災害等のリスクに対し、BCPを策定し事業継続への取組を行う県内中小企業を支援するため、産業創造資金にBCP策定企業の要件を創設する。 ウ 企業再生に対応した資金の拡充 特に経営状況の苦しい企業の再生に向けた取組を支援するため、企業パワーアップ資金の融資限度額を拡充する。 (3) 事業効果 中小企業者の金融の円滑化、県経済の活性化 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 商工団体(商工会議所・商工会)や金融機関による広報活動や融資相談など						
2 事業主体及び負担区分 (国10/10) 県0 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 (区分) 商工行政費 (細目) 中小企業振興指導費 (細節) 中小企業金融対策費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.4人=22,800千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	繰入金	諸収入						
決定額	10,162,779		1,278,788	8,081,072				802,919	△3,232,816	
前年額	13,395,595	135,000	1,152,216	11,691,437				416,942		

令和 5年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：DMO支援・観光振興担当
 内線：3952 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P65	観光プロモーション戦略会議強化事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費			
事業期間	令和5年度～ 令和8年度	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築		SDGsゴール 8	
						分野施策	0802	地域の魅力創造発信と観光振興		SDGsターゲット 8-9	
1 事業概要 観光関連事業者間のネットワークづくりを強化し、新たな取組が生み出される土壌を形成することで、観光振興を図る。 また、観光プロモーション戦略会議で「官民が全県的に連携するプロモーション」のテーマ・手法を検討し展開することで、本県への誘客を促進する。 ア 観光関連事業者のチャンスを生み出すネットワーク強化 7,960千円 イ 観光プロモーション戦略会議を通じた全県的なプロモーション 40,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 観光関連事業者のチャンスを生み出すネットワーク強化 7,960千円 イ 観光プロモーション戦略会議を通じた全県的なプロモーション 40,000千円 (2) 事業計画 ア 観光関連事業者のチャンスを生み出すネットワーク強化 ・国内外の観光産業の動向や先進的な観光振興策を学ぶセミナー ・新たな価値を生み出すノウハウを持つ県内外の事業者とのマッチング機会の提供 ・参加者による交流の場を設け、事業者が連携した取組を創出 ・観光振興に向けた戦略・戦術づくり、効果的な展開への伴走支援 ・地域の事業者との関係強化に関する専門家によるノウハウの提供 イ 観光プロモーション戦略会議を通じた全県的なプロモーション ・観光プロモーション戦略会議で「官民が全県的に連携するプロモーション」のテーマ・手法を検討し展開することで、本県への誘客と観光消費の拡大、認知度やブランド力の向上に繋げる (3) 事業効果 事業者や地域のノウハウ・ネットワークが強化され、地域が自走して観光で稼げる環境が整備される。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 観光振興に関する意欲とアイデアを持つ民間企業や地域等と、観光プロモーション戦略会議等を通じて連携し、観光振興を図る。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 事業者0											
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 (区分) 商工行政費(細目)観光及び物産振興費 (細節) 観光及び物産振興費											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円											
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金									
決定額	47,960							47,960	△45,473		
前年額	93,433	19,950						73,483			

令和 5年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：DMO支援・観光振興、総務・物
 内線：3952 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P66	県DMO支援事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 8年度	根拠法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール SDGsターゲット	
1 事業概要 県物産観光協会がDMOとして求められる「観光地域づくりの舵取り役」となるための組織機能強化を図る。 観光地域づくりを牽引する県DMOの組織機能の強化 135,540千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 観光地域づくりを牽引する県DMOの組織機能の強化 135,540千円 (2) 事業計画 ア 県DMO支援事業 県物産観光協会がDMOとして観光関連事業者を巻き込んで観光振興に取り組めるよう支援する。 (3) 事業効果 県DMOが、様々な観光関連事業者を巻き込み、観光地域づくりの舵取り役として機能することで観光客の増加、観光消費を拡大させ、県内経済活性化を図る。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 観光振興に関する意欲とアイデアを持つ民間企業や地域等と、観光プロモーション戦略会議等を通じて連携し、観光振興を図る。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 事業者0										
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 (区分) 商工行政費(細目)観光及び物産振興費 (細節) 観光及び物産振興費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	135,540	23,000						112,540	135,540	
前年額	0							0		

令和 5年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：インバンド担当
 内線：3949

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P64	ポストコロナにおけるインバウンド誘致事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 8年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-9	
1 事業概要 本県の強みである「東京からの近さ」を徹底的に売り込むために、民間事業者や地域を巻き込み、機運の醸成とブランディングを進めるとともに、受入体制の整備や情報発信を行いインバウンド誘致を進めていく。 ア 民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング 10,723千円 イ 「近さ」を実現する受入体制整備 116,073千円 ウ 「近さ」を徹底的に情報発信 28,764千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング 10,723千円 イ 「近さ」を実現する受入体制整備 116,073千円 ウ 「近さ」を徹底的に情報発信 28,764千円 (2) 事業計画 ア 民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング ・都内ホテル、交通事業者、観光事業者、県内市町村等とのネットワーク構築 ・新たなキャッチコピーとロゴ製作 ・キャッチコピーを利用したブランドイメージの統一化 ・「近さ」を実現するための広域エリアでの官民連携の強化 イ 「近さ」を実現する受入体制整備 ・埼玉観光サポートデスク（仮称）の設置・運営 ・メインターゲットが興味を惹く地域の特性を生かしたコンテンツの増加 ・おもてなし通訳案内士のスキルアップ支援 ・インバウンド実態調査 ウ 「近さ」を徹底的に情報発信 ・旅ナカの発信情報の強化 ・旅マエの発信情報の具体化・詳細化 (3) 事業効果 県内で外国人観光客の受入機運が醸成され、受入体制が整備されるとともに、外国人観光客に埼玉県の魅力が伝わることで、本県の観光振興が図られる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 国、他都県、観光関連事業者等と連携して事業を展開する。						
2 事業主体及び負担区分 県・事業者(県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 (区分) 商工行政費(細目) 観光及び物産振興費 (細節) 観光及び物産振興費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.2人=49,400千円 会計年度任用職員 2,492千円 1.0人×29h/週										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	155,560							155,560	95,124	
前年額	60,436	51,720						8,716		